



# 学校だより



5月号

藤枝中央小学校

令和5年5月1日



## 『あたりまえ』の文化

校長 飯塚 稔文

さわやかな風が校庭を包み、新緑の香りがすがすがしい季節になりました。本校の小グラウンドにある藤棚が鮮やかな藤色に染まっています。

さて、藤枝中央小学校には、ここ数年かけて築いてきた「当たり前の文化」があります。中央小学校という名前には「藤枝の中心となって活躍する学校になってほしい」という願いが込められていますが、そのような地域の方々の思いにふさわしい学校の自慢となっています。

### <藤枝中央小学校のあたりまえ>

#### ① あいさつ

合い言葉は「だ・い・じ」（誰にでも）（いつでも）（自分から）

去年は、相手の顔を見てあいさつする、笑顔であいさつする、家や地域でもあいさつするなど、あいさつのレベル1～4を示してあいさつのレベルアップを図りました

#### ② そうじ

合い言葉は「だ・い・す・き」（黙って）（一生懸命）（隅々まで）（きれいに）

掃除の時間は皆黙って集中して取り組んでいます。そのため、いつも隅々まできれいな状態が保たれています。

#### ③ トイレのスリッパを揃える

次に使う人のためにスリッパはいつも揃っています。揃っていないスリッパを見て進んで揃える子もいます。

いずれも実は簡単にできることではありません。むしろ、意識したり努力したりしないとできないことばかりです。しかし、子どもたちにとっては「あたりまえのこと」として認識され、これらあたりまえが「学校独自の空気・風（雰囲気）」として漂う環境となり、そのような学校の空気・風が子どもをよりよい方向に伸ばすことにつながっています。

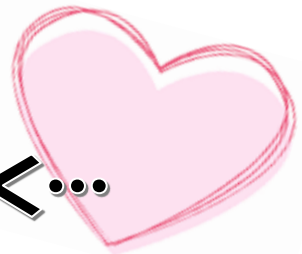
あいさつを通して人は心を開きます。子どもの心を開きは、本来子どもが持つ素直さや人への信頼につながり、温かな人間関係をつくる礎となります。掃除では、黙って集中する時間を学校全体で共有することで、一体感が生まれます。掃除がはかどり学校中がきれいになり、自分たちが使っている校舎（物）を慈しみ大事にする心を育みます。きれいにそろったスリッパからは、子どもの落ち着きや礼儀正しさ、また、気持ちのよい雰囲気が伝わります。自分の後で使う誰かのために心を寄せた行動であり、他者への心遣いが生まれます。

繰り返しますが、「あたりまえ」を大事にすることが、知らず知らずのうちに子どもたちの人間形成により影響を与えています。

何気ないあたりまえのことをあたりまえに行うことを、藤枝中央小学校の文化としてこれからも大切にしていきたいと考えております。

# 5月の行事予定

# 入学したての 1年生のわくわく...



1	月	避難訓練 予告なし(延期分)
2	火	校内通学班会 市P連総会 17:30
8	月	PTAあいさつ運動 水曜日課4時間 学区めぐり 教育実習 2名(～5/26)
9	火	交通安全教室(1・3年)
10	水	PTA運営委員会
11	木	耳鼻科検診①13:15 委員長会
12	金	引き渡し訓練
15	月	委員会活動②
16	火	5時間授業 移動図書館 体カテスト準備
17	水	体カテスト① 尿検査<二次>
18	木	体カテスト② 代表委員会①
19	金	体カテスト(予備)
22	月	教育相談日①
23	火	耳鼻科検診②9:15
25	木	にこにこあいさつ運動② ペア活動①
26	金	買い物学習(コスモス)
30	火	鑑賞教室
31	水	校内就学支援委員会② 尿検査<三次>

どきどきわくわくの入学式。教科書をもろってがんばるよという気持ちが  
見えますね



学習のはじまり。生活という教科の「春みつけ」何か見つけたみたいですね。

きれいなよう  
かわいい形の  
葉っぱを  
見つけましたね。  
発見は、  
うれしいですね。



みんなといっしょにお勉強。  
楽しいことが  
これからもたくさん  
ありそうですね。



**これからも  
健やかに育つ子どもたちを  
お伝えしていきます。**